

咬み合わせ・歯並びが気になる方、治す必要のある方へ

咬み合わせ・歯並びが悪いと…

- ◆ ブラッシングしにくい
→虫歯・歯周病が進行しやすくなる。
- ◆ 部分的に強い力がかかることで、歯に亀裂が入り、傷めやすくなる
→虫歯、歯周病の進行、知覚過敏の原因になる。
病状が進行すると歯を失う原因に…入れ歯になる
- ◆ あごの成長を妨げる
→顔が左右非対称になる。
あごのあたりに痛みを感じたり、口を大きく開けられない。…顎関節症
- ◆ 見た目がよくない
- ◆ 咬みにくい、消化吸収によくない
- ◆ はっきりとした発音ができない
→サ行、タ行、ラ行の発音が悪い。英語の発音や、将来、歌手やアナウンサー・通訳など言葉の発音が重視される職業につく場合はハンデになることがある。
- ◆ 心理的な影響
→歯並びが悪いと、そのことを気にして人前で話したがいなくなったり、容姿を気にして友達付き合いも消極的になったりしてしまう。
- ◆ 肩こり、偏頭痛の原因になる

上記のように、咬み合わせ・歯並びの異常は、見た目の問題以上に、虫歯や歯周病などお口の中で生じる病気の根本的な原因になる他、肩こり、偏頭痛など全身的な健康にも悪影響を与えます。

お子様の咬み合わせの異常は、親が日常生活の中でしっかりと観察しなければなかなか気付きません。しかし、咬み合わせ・歯並びの異常は、適切な時期に適切な処置を施すことで、その異常を予防、軽減することができる場合があります。

そのためには精密検査を行い、より正確に現状を把握し、治療計画を立てることが必要です。

お子様のお口の中のことで気になることがある方は、お気軽に担当の歯科衛生士・歯科医師にご相談ください。

お子様の咬み合わせ・歯並びチェックリスト

検査日：

No：

氏名：

咬み合わせ・歯並びに問題がある場合の代表的な徴候を以下に示します。お子様のお口の中で当てはまるものがないか確認してみましょう。

＜お口の中の徴候＞

- 歯並びが凸凹している。八重歯がある。
- 横から見た時、上あごの前歯が、下あごの前歯より極端に突き出ている。
- 下あごの前歯が上あごの前歯よりも前で咬み合わさっている。
- 奥歯で咬み合わせても、上下の前歯に隙間がある。
- 咬み合わせた時に、上あごの前歯で下あごの前歯が見えなくなる。
- 奥歯のかみ合わせが左右にずれている。咬み合わさっていない。
- 歯と歯の間が離れている。隙間がある。
- 歯の数が多。または少ない
- 上あごと下あごの歯並びの真ん中がずれている。あごが歪んでいる。

＜見た目、機能的な徴候＞

- 上手に噛めない、噛み方がおかしい。
- 食事を丸飲みしようとする。
- 発音がおかしかったり、しゃべる時に空気が漏れる。
- いつも口を「ぽかん」と開けている。
- いびきがひどい。
- いつも横向きやうつ伏せで寝ている。
- 指をしゃぶる癖がある。
- 両親の歯並びが悪い。

上記のチェック項目の中で一つでも当てはまるものがある場合、咬み合わせの異常が疑われます。

咬み合わせ・歯並びは、適切な時期に適切な処置を施すことで、その異常を予防、軽減することができる場合があります。

そのためには精密検査を行い、より正確に現状を把握し、治療計画を立てることが必要です。

咬み合わせ・歯並びのことで気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。